

科名 血液内科

対象疾患名 Ph陰性 B-ALL

プロトコール名 JALSG Ph(-) B-ALL 213 寛解導入療法

Rp	形態	ルート	薬剤名	量	時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29		
1	CV	側管	ブレトニゾロン 生理食塩液	60mg/m ² 100mL	1時間かけて	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓		
2	CV	側管	グラニセトロンバッグ	1mg	30分かけて								↓	↓	↓						↓														↓	
3	CV	側管	オンコビン 生理食塩液	1.3mg/m ² 100mL	30分かけて								↓								↓														↓	
4	CV	側管	ダウルビシン 生理食塩液	45mg/m ² 100mL	1時間かけて								↓	↓	↓																					
5	CV	側管	エンドキサン 生理食塩液	1200mg/m ² 500mL	3時間かけて								↓																							
6	CV	側管	ロイナーゼ 5%ブドウ糖液	5000KU/m ² 500mL	4時間かけて																															↓
7		髄注											↓																							

～MEMO～

- ・催吐レベル4(90%以上)
- ・day8、15に「MTX 15mg/body+キロサイト[®] 40mg/body+テキサート注 3.3mg/body」(血内179)を髄注する。
- 〈ブレトニゾロン〉
- ・先行投与を経口、または点滴で7日間行う。
- ・年齢により投与期間を下記とし、投与期間後は7日間かけて漸減中止する。
(45歳未満 28日、45歳以上60歳未満 21日、60歳以上 14日)
- 〈オンコビン〉
- ・Max = 2 mg
- 〈ダウルビシン〉
- ・60歳以上では、30mg/m²に減量する。
- 〈エンドキサン〉
- ・60歳以上では、800mg/m²に減量する。
- 〈ロイナーゼ〉
- ・筋注でも可。その際は、2mLの注射用水、または5%ブドウ糖液で溶解し使用する。(10000KUまで可)
- ・60歳以上65歳未満の患者に投与する場合は、3000KU/m²に減量する。